

施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 5 - (2)

政策体系	施策名	人に優しい安全で安心な交通社会の実現	所管部局名	警察本部	長期総合計画頁	59
	政策名	安全・安心を実感できる暮らしの確立	関係部局名	警察本部、生活環境部、土木建築部		

【 . 主な取り組み】

取組				
取組項目	交通安全意識の高揚	交通秩序の確立	交通環境の整備	交通事故被害者等支援の充実

【 . 目標指標】

	指 標	関連する取組	基準値		29年度			31年度	36年度	目標達成度(%)									
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125					
	交通事故死者数(人)		H26	56	42以下	44	95.2%	40以下	35以下										
	交通事故負傷者数(人)		H26	6,670	6,200以下	5,332	114.0%	6,000以下	5,500以下										

【 . 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
概ね達成	県民の交通安全意識の高揚を図るため、関係機関・団体と連携し各種取組を推進したが、交通事故死者数は昨年より2人増加し、目標値達成には至らなかった。	達成
達成	交通ボランティアや関係機関・団体と連携した街頭啓発活動や交通事故発生状況の詳細な分析に基づく先制的な交通事故抑止対策を推進した結果、交通事故負傷者数は前年より530人減少し目標値を達成した。	

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	・運転免許の更新を半年後に控えた80歳以上の高齢運転者に対し、運転免許証の自主返納やその支援制度、交通安全啓発に関する資料等を郵送する「大分県警まごころ宅配便」を開始した。H29年度は9,595人に郵送し、運転免許証の自主返納制度や交通安全に関する情報を提供した。
	・交通事故の発生状況を分析し、速度違反や交差点関連違反等、交通事故に直結する悪質・危険な交通違反を重点とした指導取締りを行い、交通事故抑止を推進した。速度違反取締りに関しては、速度に起因する重大事故の発生状況や地域住民からの要望を踏まえた「速度取締り指針」を策定するとともに、県警ホームページで公表した。
	・交差点での車と歩行者の交錯を少なくする歩車分離式信号機を2か所、信号灯器のLED式への更新を車両用41か所、歩行者用28か所整備したほか、横断歩道をはじめとした交通安全施設の整備を進めた。
	・交通遺児(小中学生30人、高校生25人)の健全育成を図るため、入学祝金や家族ふれあい旅行助成金、高校生の育英支援金、私立高等学校の授業料助成等の救済援護活動を実施した。また、交通事故被害者等に対する交通事故相談は1,218件となり、前年より229件の増加となった。

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	高齢者交通事故防止総合対策事業	17,078	A	継続・見直し	274
	交通安全施設整備事業	795,129	A	継続・見直し	275
	共生のまち整備事業	80,000	-	-	225
	身近な道改善事業	864,000	A	継続・見直し	226
	交通安全事業	3,043,083	-	-	227

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>第8回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.2) ・高齢者の事故防止対策として、高齢者を対象にした教育や環境整備に加えて、青壮年向けに高齢ドライバーの特徴を教育するなど、高齢ドライバーに受容的な取組を実施してほしい。</p>	<p>第1回別府警察署協議会(H29.6) ・H30には別府市内で世界温泉地サミットが開催されるほか、H31にはラグビーワールドカップなど国際行事が予定されているので、多くの外国人の来訪が予想される。そのため、外国人の旅行者にもわかりやすい道路標識を設置する必要があるのではないかと。</p>
--	---

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・交通指導取締り情報、交通事故発生情報等の積極的な情報発信を行い、県民一人一人の交通安全意識の高揚を図る。</p> <p>・関係機関・団体と緊密に連携した広報啓発活動や、シミュレータ等を活用した参加・体験・実践型の交通安全教育を推進して、加害・被害両面から高齢者の交通事故防止を図る。</p> <p>・「大分県飲酒運転根絶に関する条例」に基づき、県民や関係機関・団体と連携し、「飲んだらのれん運動」や「ハンドルキーパー運動」等を展開して、飲酒運転を許さない社会環境づくりに努める。</p> <p>・「自転車運転者講習制度」の運用を通じて、自転車利用者の交通ルール・マナーを向上させ、自転車事故の減少を図る。</p> <p>・交通事故分析の高度化を図るとともに、PDCAサイクルを効果的に機能させ、交通事故抑止に資する交通指導取締りを推進する。</p> <p>・ラグビーワールドカップ等のビッグイベントに備え、国内外から大分県を訪れる観光客を含む県内全ての人が、安全で快適に行動できる交通環境を整備する。</p> <p>・生活道路等における交通安全対策を推進するため、地域住民や道路利用者の意見を積極的に取り入れ、変化する交通環境に応じた交通規制を推進する。</p>